

### Ⅲ 調 査 票



問4 問2で「②必要でない」と回答された方にお伺いします。あなたが高齢者の社会参加活動を推進することが必要ではないと思う理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。  
(○はいくつでも)

- ① 高齢者は支えられるべきである      ③ 個人の自由である  
② 退職後まで活動を強いるべきでない      ④ その他( )

※以下、回答いただく方御自身のことをお伺いします。

問5 あなたの就労希望時期（何歳頃まで仕事をしたいですか）について、あてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

- ① 60歳くらいまで  
② 65歳くらいまで  
③ 70歳くらいまで  
④ 75歳くらいまで  
⑤ 76歳以上  
⑥ 働けるうちはいつまでも  
⑦ わからない  
⑧ その他( )

問6 問5で回答された理由はどのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(○は1つ)

- ① 安定した収入を得るため  
② 臨時収入を得るため  
③ 健康維持のため  
④ いきがい・社会参加のため  
⑤ 頼まれたから  
⑥ 時間に余裕があるため  
⑦ その他( )

問7 60歳以上の方にお伺いします。あなたは現在仕事をしていますか。仕事をされていない場合には、何歳頃まで仕事をしていましたか。あてはまるものを選んでください。(○は1つ)

- ① 現在も仕事をしている                      ② (                      ) 歳頃まで働いていた

問8 あなたが希望する社会参加活動の形態はどのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ① 正規雇用  
② パート・アルバイト  
③ シルバー人材センター会員  
④ 創業・起業  
⑤ 有償ボランティア  
⑥ 無償ボランティア  
⑦ 生涯学習  
⑧ その他( )

**問9** あなたは、高齢者が希望する社会参加活動を促進するために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- ① ハローワークによる職業紹介の充実
- ② シルバー人材センターの充実
- ③ 起業・創業支援
- ④ 長年培った専門的知識や経験を活かすための新たな高齢者の求職支援サービスの提供と仲介
- ⑤ ボランティア活動情報提供と仲介
- ⑥ 健康づくり支援(食育・健康講座等)
- ⑦ 高齢者の社会参加活動に関する相談・仲介を一元化した窓口の設置
- ⑧ シニア大学の充実
- ⑨ その他( )

**問10** 以上のほか、高齢者の社会参加活動の促進のあり方に関して、ご意見があれば自由にお書き下さい。

## 【多文化共生社会について】

多文化共生とは、国籍や民族などが異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きていくことです。

現在、長野県には約3万人の外国人が暮らしています。

県では、こうした外国人を含め、県民一人ひとりが、安心して暮らし、自分の能力を十分に発揮し活躍できる社会の実現を目指しています。

このため、多文化共生に関する県民の皆様のお考えをお伺いします。

**問11** あなたは、日常生活で県内に住んでいる外国人とどのような関わりがありますか。または、ありましたか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- ① とてもある。（例 知人、友人、親戚等である。）
- ② あいさつする程度の関わりがある。（例 職場の同僚、よく行く店で働いている。）
- ③ 関わりはほとんどない。（例 顔を知っている程度、近所に住んでいる。）
- ④ 関わりは全くない。

**問12** あなたは外国人とともに暮らす社会についてどう思いますか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- ① 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので望ましい。
- ② 地域で外国人と交流できるので望ましい。
- ③ 地域の経済的な発展の維持につながり、望ましい。
- ④ 日本人の雇用を脅かしたり、低賃金化につながるので、望ましくない。
- ⑤ 習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので、望ましくない。
- ⑥ 治安が悪化するので、望ましくない。
- ⑦ わからない。

**問13** あなたは、外国人とともに暮らしやすい社会にしていくためには、県や市町村はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- ① 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する。
- ② 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する。
- ③ 外国人に対し、日本語の学習を支援する。
- ④ 日本人と外国人の交流の場をつくる。
- ⑤ 企業に対し、外国人の労働環境の改善を促す。
- ⑥ 外国人の子どもに対する教育を充実させる。
- ⑦ 外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる。
- ⑧ 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する。
- ⑨ 外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す。
- ⑩ わからない。
- ⑪ 特にない。

## 【介護マークの認知度について】

高齢化の進展にともない、認知症の家族等を介護する方も増えています。

介護者は付き添いのため駅やスーパーなどで異性のトイレへ入ったり、やむを得ず異性の下着を購入することがありますが、他人には介護のために行っていることがわからず、思わぬ誤解や偏見を受け困っているという現実があります。

そこで、県では、一目で介護中であることがわかる「介護マーク」を導入し、市町村等と協力してその意味をポスター等で広報したり、介護者が身に付けるカードを配布することなどにより、介護者を地域で支える機運の醸成に努めています。

この「介護マーク」に対する県民の皆様の認知度等についてお伺いします。

問14 あなたは「介護マーク」を知っていましたか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

① 知っていた

② 知らなかった

問15 あなたは「介護マーク」（下記参照）を見て、何を意味しているかわかりましたか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

① わかった

② わからなかった（理由

）



介護マーク



介護マーク着用例

## 【県職員の姿勢・行動について】

長野県では、県職員が丸となって、より良い県政の実現に向けて取り組んでいくため、組織の「使命・目的（ミッション）、目指す姿（ビジョン）、価値観・行動の指針（バリュー）」について、平成24年3月に「行政経営理念」として定めました。

この理念のもと、質の高いサービスを県民の皆様を提供し続けるため、行政・財政改革に取り組んでいくこととしています。そこで、次の2点についてお伺いします。

※この質問は、県の職員の姿勢・行動の変化を把握するため、以前実施したアンケート調査（平成24年度第1回（24年8月実施）、第3回（平成25年1月実施））と同内容となっています。

問16 県の職員は、県民の皆様の期待にどの程度応えられていると思いますか。  
(10点満点の点数を右の口内に記入してください。)

※県の職員（県庁や合同庁舎等に勤務する職員）が期待どおりの行政サービスを提供できているかなどについて、職員全体に対するイメージでお答えください。

(摘要) 10: 完全に期待に応えられている。 ～ 0: 全く期待に応えられていない。

また、上記の点数をつけた具体的な理由があれば記載してください。

理由( )

問17 県の職員は、「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいる」と思いますか。  
(10点満点の点数を右の口内に記入してください。)

※県の職員（県庁や合同庁舎等に勤務する職員）の窓口・電話対応の仕方や仕事に取り組む姿勢などについて、職員全体に対するイメージでお答えください。

(摘要) 10: 非常に高い志や情熱が感じられる。 ～ 0: 志や情熱が全く感じられない。

また、上記の点数をつけた具体的な理由があれば記載してください。

理由( )

### 【参考】

#### 長野県行政経営理念

##### 【使命・目的（ミッション）】

最高品質の行政サービスを提供し、  
ふるさと長野県の発展と県民の幸福の実現に貢献します。

##### 【目指す姿（ビジョン）】

県民に信頼され、期待に応えられる県行政を目指します。  
職員が高い志と仕事への情熱を持って活躍する県組織を目指します。

← 今回この部分について  
お尋ねします。

##### 【価値観・行動の指針（バリュー）】

私たちは、  
県民起点で真摯に行動します。  
様々な組織と協働します。  
成果をあげることにこだわりを持ちます。  
平均ではなく、最高を目指します。  
変化を恐れず挑戦します。  
責任感を持って主体的に行動します。  
チームとして協力し合います。